



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月13日

上場会社名 株式会社アスモ

上場取引所 東

コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長 (氏名) 岡田 秀樹

TEL 03-6911-0550

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,152	26.3	240	△52.1	238	△52.8	△0	—
26年3月期第1四半期	3,286	49.8	501	165.7	505	180.8	390	147.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 7百万円 (△98.1%) 26年3月期第1四半期 425百万円 (172.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.00	—
26年3月期第1四半期	2.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	4,794	3,088	62.1	21.24
26年3月期	4,907	3,052	59.9	20.97

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,978百万円 26年3月期 2,940百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,829	13.3	452	△57.4	487	△53.6	414	△50.5	2.95
通期	15,978	8.9	951	△49.9	1,022	△46.6	868	△0.0	6.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.5「2.サマリー情報(注記事項)に関する情報(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	151,451,750 株	26年3月期	151,451,750 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	11,242,601 株	26年3月期	11,242,601 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	140,208,789 株	26年3月期1Q	140,209,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1.当期四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による一連の金融・財政政策の効果もあり、為替相場は比較的安定的な推移を示し、企業収益は改善、設備投資も増加に転じるなど、景気回復の兆しが見られる一方、個人消費については消費税増税に伴う駆け込み需要と4月以降の反動により不安定な状況であり、先行きが不透明な経済環境となっております。

このような状況の下、当社グループは前期に卸売事業及び給食事業の新設分割を含む組織再編を実施し、当社は持株会社として経営戦略業務を、連結子会社においては各事業分野に特化した判断による業務の効率化を図り、事業規模の拡大と経営基盤の強化を推し進めてまいりました。

また、当社は平成26年4月1日付けで、本社機能の強化と業務の一層の効率化を図るとともに、グループ間の連携を深め、収益力のさらなる向上を目的として、大阪市に所在していた本社を当社グループの収益の柱である株式会社アスモフードサービス及び株式会社アスモ介護サービスが拠点を置く東京都新宿区に移転いたしました。

また、平成26年4月1日付けで、連結子会社であるブロードマインド少額短期保険株式会社の商号を、グループとしての一体感の醸成とさらなる連携強化を図るために株式会社アスモ少額短期保険株式会社に変更いたしました。

上記の施策により、売上高は増加しておりますが、景気回復による人材難及び人件費の上昇や穀物・資源価格高騰などによる原材料費の上昇、また、特別損失として旧本店土地建物及び奈良県に所有しております社宅を売却したことに伴う譲渡損失見込額158百万円を減損損失に計上しております。これを受けて営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益についてはいずれも減少しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,152百万円（前年同四半期比 26.3%増）、営業利益240百万円（前年同四半期比 52.1%減）、経常利益238百万円（前年同四半期比 52.8%減）となり、当第1四半期連結累計期間における四半期純損失は、△0百万円（前年同四半期は四半期純利益390百万円）となりました。

主なセグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸	
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	高齢者介護施設の入居斡旋・訪問介護事業所の運営	
OX (H. K.) 事業 (OX (H. K.) COMPANY LIMITED)	香港における外食店舗の運営	
そ の 他	(サーバントラスト信託株式会社)	信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	保険商品の販売
	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、日本国内、アメリカ、カナダ及びメキシコにおいて発生している豚流行性下痢（PED）の影響により豚肉の価格が上昇し続け、世界的に品薄となっている商材を保有していたことから、豚肉の販売量及び販売価格に好影響をもたらし、増収増益に寄与いたしました。また、国産商材についても取扱量の増加に注力し、高利益が見込まれる希少部位を原料販売し、市場に流通する量が多い部位を通信販売用の商品として加工使用することで、効率的な購買及び販売が出来る体制を構築いたしました。依然として続いている原料価格の影響、円安及び原油高によるコストの負担もありましたが、販売価格に転嫁させるべくお客様との交渉を行うとともに販売量の増加にも務め、収入の拡大と利益の確保を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、779百万円（前年同期457百万円）営業利益は、7百万円（前年同期1百万円）となりました。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業では、給食にとって大切な三大要素を「安心・安全」「健康維持に必要な栄養」「食の楽しみ」と考え、これらの要素を充実させることにより、お客様に確実に満足して頂くことを目指しております。この考えに基づき、運営管理・衛生管理・人材管理の三つを基本に管理し、安全でおいしい食事の提供を心がけています。また、年間行事食やイベント食の企画にも注力しており、イベント食に反映させることを目的に、「料理コンテスト」を実施しております。審査は食べ易さ・色彩・味・ボリューム・単価・アイデア性など多角面の基準で評価を行い、事業所で培った従業員個々の知識・技術・経験を十分に発揮する場として、有用しております。様々な業態のお客様に喜ばれるお食事を提案・提供することを念頭におき、積極的な営業活動を行った結果、当第1四半期連結会計期間末時点における受託施設数は（労務委託等の部分委託を含む）280施設（前年同四半期末時点は259施設）となっています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,728百万円（前年同期1,588百万円）、営業利益は、1百万円（前年同期52百万円）となりました。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、前期に訪問介護事業所の積極的な開設を推し進め、43事業所を設置するに至りました。当第1四半期においては、ご契約者の獲得に尽力を注ぎ、その結果、当第1四半期連結会計期間末時点におけるご契約者数は1,522名（前年同四半期末時点は、31事業所の1,343名）となりました。

今後におきましては、関東を中心に事業所を開設することでご契約者数も増加するものと考えております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,002百万円（前年同期814百万円）、営業利益は、191百万円（前年同期339百万円）となりました。

④ OX（H. K.）事業

OX（H. K.）事業におきましては、連結子会社であるOX（H. K.）COMPANY LIMITEDが、1979年の会社設立以来、香港にて外食店舗を運営しております。当第1四半期連結会計期間末時点において、16店舗を展開しています。主力原料である鮮魚の高騰によるコスト面の負担や、中国大陸からの人及び資金の流れが減速していることから客足が伸び悩んだ一方で、一部の店舗においてはリニューアルオープンにより盛況を博しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、471百万円（前年同期417百万円）、営業利益は、2百万円（前年同期29百万円）となりました。

なお、OX（H. K.）COMPANY LIMITEDは平成26年7月よりASMO CATERING（HK）CO., LIMITEDに社名変更しております。

⑤ その他の事業

その他の事業におきましては、信託事業では、既存商品の「不動産証券化信託」や「エスクロー信託」、新規商品の「老い支度サポート信託」や「葬儀費用安心お預かりサービス信託」などの販売に努めましたが、まだまだ営業利益を計上するに至っておりません。引き続き、積極的な営業活動等を行い、顧客開拓に注力し利益体質への転換を図ってまいります。少額短期保険事業では、現在において営業利益を計上できておりますが、今後、グループが得意とする「シニアマーケット」に適した保険を開発・販売することにより、更なる販路・規模の拡大を図ってまいります。新たに台湾に法人を設立し開始した飲食事業では、売上や客数等は、好調に推移しておりますが、設立初年度のため経費先行となり、営業利益を計上するに至っておりません。今後は初期投資も一巡し、利益体質への転換が図れるものと考えております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、167百万円（前年同期6百万円）、営業損失は13百万円（前年同期16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,794百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が163百万円、有形固定資産が71百万円減少し、受取手形及び売掛金が148百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,708百万円となり、前連結会計年度末に比べ146百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が200百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,086百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは主に退職給付に関する会計基準等の適用による利益剰余金の増加27百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.1%（前連結会計年度末は59.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月14日「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が27,089千円減少し、利益剰余金が27,089千円増加しております。また、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,509,186	1,345,426
受取手形及び売掛金	1,611,441	1,760,184
商品	310,366	306,128
貯蔵品	14,075	12,933
その他	482,675	405,223
貸倒引当金	△3,867	△3,435
流動資産合計	3,923,877	3,826,460
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	621,469	549,515
有形固定資産合計	621,469	549,515
無形固定資産		
のれん	94,349	89,383
その他	6,597	6,130
無形固定資産合計	100,947	95,513
投資その他の資産		
その他	577,607	638,725
貸倒引当金	△316,887	△315,521
投資その他の資産合計	260,720	323,204
固定資産合計	983,137	968,233
資産合計	4,907,015	4,794,694



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,269	496,386
未払金	573,435	552,423
未払法人税等	96,059	123,373
賞与引当金	137,003	178,525
返品調整引当金	6,792	—
その他	462,370	262,070
流動負債合計	1,733,931	1,612,778
固定負債		
長期借入金	4,261	2,790
退職給付に係る負債	108,152	84,804
その他	8,326	7,780
固定負債合計	120,740	95,375
負債合計	1,854,672	1,708,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	641,874	668,655
自己株式	△42,350	△42,350
株主資本合計	2,922,796	2,949,577
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	196	△125
為替換算調整勘定	86,158	80,430
退職給付に係る調整累計額	△68,844	△51,633
その他の包括利益累計額合計	17,511	28,671
少数株主持分	112,035	108,291
純資産合計	3,052,343	3,086,541
負債純資産合計	4,907,015	4,794,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,286,674	4,152,045
売上原価	2,204,162	3,101,766
売上総利益	1,082,512	1,050,278
返品調整引当金戻入額	8,051	6,792
返品調整引当金繰入額	9,976	—
差引売上総利益	1,080,587	1,057,071
販売費及び一般管理費	579,290	816,847
営業利益	501,297	240,223
営業外収益		
受取利息	16	12
為替差益	6,661	—
貸倒引当金戻入額	—	1,800
その他	198	1,855
営業外収益合計	6,876	3,668
営業外費用		
支払利息	2,170	95
為替差損	—	1,884
その他	468	3,403
営業外費用合計	2,639	5,383
経常利益	505,534	238,508
特別損失		
減損損失	—	158,339
賃貸借契約解約損	420	—
その他	36	—
特別損失合計	456	158,339
税金等調整前四半期純利益	505,077	80,169
法人税、住民税及び事業税	123,821	31,406
法人税等調整額	△26,375	50,428
法人税等合計	97,445	81,834
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	407,631	△1,665
少数株主利益又は少数株主損失(△)	16,709	△1,358
四半期純利益又は四半期純損失(△)	390,922	△307

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	407,631	△1,665
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△322
為替換算調整勘定	18,349	△7,296
退職給付に係る調整額	—	17,211
その他の包括利益合計	18,349	9,591
四半期包括利益	425,981	7,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400,280	10,852
少数株主に係る四半期包括利益	25,701	△2,927

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	OX (H. K.) 事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	2,059	457,628	1,588,357	814,191	417,583	3,279,821	6,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	166,700	4,404	3,352	—	—	174,457	—
計	168,760	462,033	1,591,710	814,191	417,583	3,454,279	6,852
セグメント利益又は損 失(△)	95,232	1,638	52,317	339,127	29,947	518,262	△16,965

(単位:千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	3,286,674	—	3,286,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	174,457	△174,457	—
計	3,461,132	△174,457	3,286,674
セグメント利益又は損 失(△)	501,297	—	501,297

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	518,262
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△16,965
四半期連結損益計算書の営業利益	501,297

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	OX (H. K.) 事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	2,857	779,734	1,728,645	1,002,505	471,284	3,985,027	167,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,242	8,546	5,665	-	-	149,454	-
計	138,100	788,280	1,734,310	1,002,505	471,284	4,134,481	167,018
セグメント利益又は損 失(△)	42,979	7,953	1,665	191,788	2,533	246,921	△13,298

(単位:千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	4,152,045	-	4,152,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,454	△149,454	-
計	4,301,499	△149,454	4,152,045
セグメント利益又は損 失(△)	233,623	6,600	240,223

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	246,921
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△13,298
セグメント間取引消去	6,600
四半期連結損益計算書の営業利益	240,223

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	OX (H. K.) 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	158,339	-	-	-	-	-	-	158,339